

令和元年度上野学園大学学生による 「授業評価アンケート」実施報告書

1. はじめに

本学では、学生による「授業評価アンケート」を前期と後期の年 2 回実施している。令和元年度は、延べ 4161 名の学生が、本学の教育を可視化する作業に協力してくれた。授業改善の循環とするべく、集計、分析した結果をここに報告する。

2. 実施期間と実施対象科目

実施期間を授業最終回の前後 2 週間程度設定した。

前期：令和元年 7 月 8 日（月）から同年 7 月 29 日（月）まで

後期：令和元年 12 月 2 日（月）から令和 2 年 1 月 10 日（金）まで

Semester制が導入された 1～2 年次生は、毎期、全履修科目が回答対象であったが、3 年次生以上は、通年科目の回答を後期に一括調査する形をとった。

3. 実施手順

講義

1. 教員は講義の始めに、最後の 15 分間をアンケート回答に充てる旨を説明する。

2. 講義終了後、教員は学生に URL と QR コードを学生に提示し、教室を退出する。

3. 学生は携帯電話またはスマートフォンで回答する。いずれも所有していない学生は、図書館に移動して PC で回答する。

実技

1. 教員はレッスン時に学生に URL と QR コードを学生に提示する。

2. 学生は、レッスン終了後、空き教室、ラウンジ、食堂等に移動して、回答する。

アンケートは、選択式と自由記述の 2 種類の回答方式で構成され、また、講義と実技とで設問を別にした。自由記述では学生の要望・意見を求めた。

4. 集計方法

コンピュータで集計した。なお、学生個人を特定するデータは一切取り出されていない。

5. 教員への結果通知

授業ごとの集計結果及び自由記述は、各教員に令和 2 年度初頭に配付した。自由記述は、学生個人名が特定できないようになっている。

6. 今後の方針

このアンケートにより、教員は学生の授業に対する評価、感想、要望を知り、授業計画の修正や授業方法の改善を図ることができる。

FD 委員会委員長が指定した授業科目の担当教員は、「授業改善計画書」を作成する。それらは、学内者専用ホームページ上で公開される。

7. 令和元年度「授業評価アンケート」全体集計結果

◆回収率

	回答数	回答者数	回収率
全体	2619	4161	62.94%
講義	2245	3524	63.71%
実技	374	637	58.71%

◆学年別回答数

	回答数	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生
全体	2619	1229	712	338	340
割合		46.93%	27.19%	12.91%	12.98%
講義	2245	1094	581	299	271
割合		48.73%	25.88%	13.32%	12.07%
実技	374	135	131	39	69
割合		36.10%	35.03%	10.43%	18.45%

◆授業形態別授業評価・講義

項目	選択肢	回答数	割合
Q1 先生は授業の開始時間と終了時間を守っている。	そう思う	1853	82.54%
	ややそう思う	273	12.16%
	どちらとも言えない	68	3.03%
	あまりそう思わない	37	1.65%
	そう思わない	14	0.62%
Q2 先生はわかりやすい言葉を使って、はっきりと説明している。	そう思う	1702	75.81%
	ややそう思う	307	13.67%
	どちらとも言えない	145	6.46%
	あまりそう思わない	60	2.67%
	そう思わない	31	1.38%
Q3 先生は、わかりやすい板書・プレゼンテーション機器・配布教材を、効果的に使って説明している。	そう思う	1657	73.81%
	ややそう思う	317	14.12%
	どちらとも言えない	163	7.26%
	あまりそう思わない	68	3.03%
	そう思わない	40	1.78%
Q4 授業に対する先生の熱意が感じられる。	そう思う	1796	80.00%
	ややそう思う	290	12.92%
	どちらとも言えない	106	4.72%
	あまりそう思わない	23	1.02%
	そう思わない	30	1.34%
Q5 先生は講義計画を明確に示し、それに沿って授業を実施している。	そう思う	1785	79.51%
	ややそう思う	278	12.38%
	どちらとも言えない	127	5.66%
	あまりそう思わない	36	1.60%
	そう思わない	19	0.85%

Q6 先生は、学生の私語や居眠りを注意し、授業態度を正している。	そう思う	1539	68.55%
	ややそう思う	351	15.63%
	どちらとも言えない	99	4.41%
	あまりそう思わない	200	8.91%
	そう思わない	56	2.49%
Q7 先生は学生の質問に適切に答えている。	そう思う	1783	79.42%
	ややそう思う	292	13.01%
	どちらとも言えない	114	5.08%
	あまりそう思わない	30	1.34%
	そう思わない	26	1.16%
Q8 私は授業の目的と内容を理解できた。	そう思う	1638	72.96%
	ややそう思う	341	15.19%
	どちらとも言えない	145	6.46%
	あまりそう思わない	69	3.07%
	そう思わない	52	2.32%
Q9 私はこの授業に満足できた。	そう思う	1628	72.52%
	ややそう思う	318	14.16%
	どちらとも言えない	171	7.62%
	あまりそう思わない	66	2.94%
	そう思わない	62	2.76%

◆授業形態別授業評価・実技

項目	選択肢	回答数	割合
Q1 先生はレッスンの開始時間と終了時間を守っている。	そう思う	324	86.63%
	ややそう思う	37	9.89%
	どちらとも言えない	3	0.80%
	あまりそう思わない	9	2.41%
	そう思わない	1	0.27%
Q2 レッスンでは、演奏技術はもちろん、作品とその精神についての説明もある。	そう思う	346	92.51%
	ややそう思う	20	5.35%
	どちらとも言えない	5	1.34%
	あまりそう思わない	2	0.53%
	そう思わない	1	0.27%
Q3 レッスンに対する先生の熱意が感じられる。	そう思う	354	94.65%
	ややそう思う	15	4.01%
	どちらとも言えない	1	0.27%
	あまりそう思わない	2	0.53%
	そう思わない	2	0.53%
Q4 先生は学生の質問に適切に答えている。	そう思う	359	95.99%
	ややそう思う	11	2.94%
	どちらとも言えない	4	1.07%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	0	0.00%

Q5 私はレッスンの目的と内容を理解できた。	そう思う	355	94.92%
	ややそう思う	13	3.48%
	どちらとも言えない	4	1.07%
	あまりそう思わない	2	0.53%
	そう思わない	0	0.00%
Q6 私はこのレッスンに満足できた。	そう思う	350	93.58%
	ややそう思う	17	4.55%
	どちらとも言えない	3	0.80%
	あまりそう思わない	3	0.80%
	そう思わない	1	0.27%

◆アンケート結果

各項目における〈そう思う〉と〈ややそう思う〉の割合を合わせると、すべての項目で 80%を超えている。実技ではすべて 95%超である。回答結果から全体的に教員の教授において問題はなく、満足度が高い授業・レッスン内容だったと言える。特に実技についての満足度は高い。ただし、講義 Q6 は、若干、否定的傾向が読み取れる。

◆自由記述

講義、実技とも、自由記述式の設問を 2 つ用意した。回答は担当教員に伝えられている。
 講義 Q10・実技 Q7 この授業・レッスンで特に良かった点があれば書いてください。
 講義 Q11・実技 Q8 この授業・レッスンや担当教員に対して、今後、改めて欲しい点があれば書いて下さい。

◆気付き

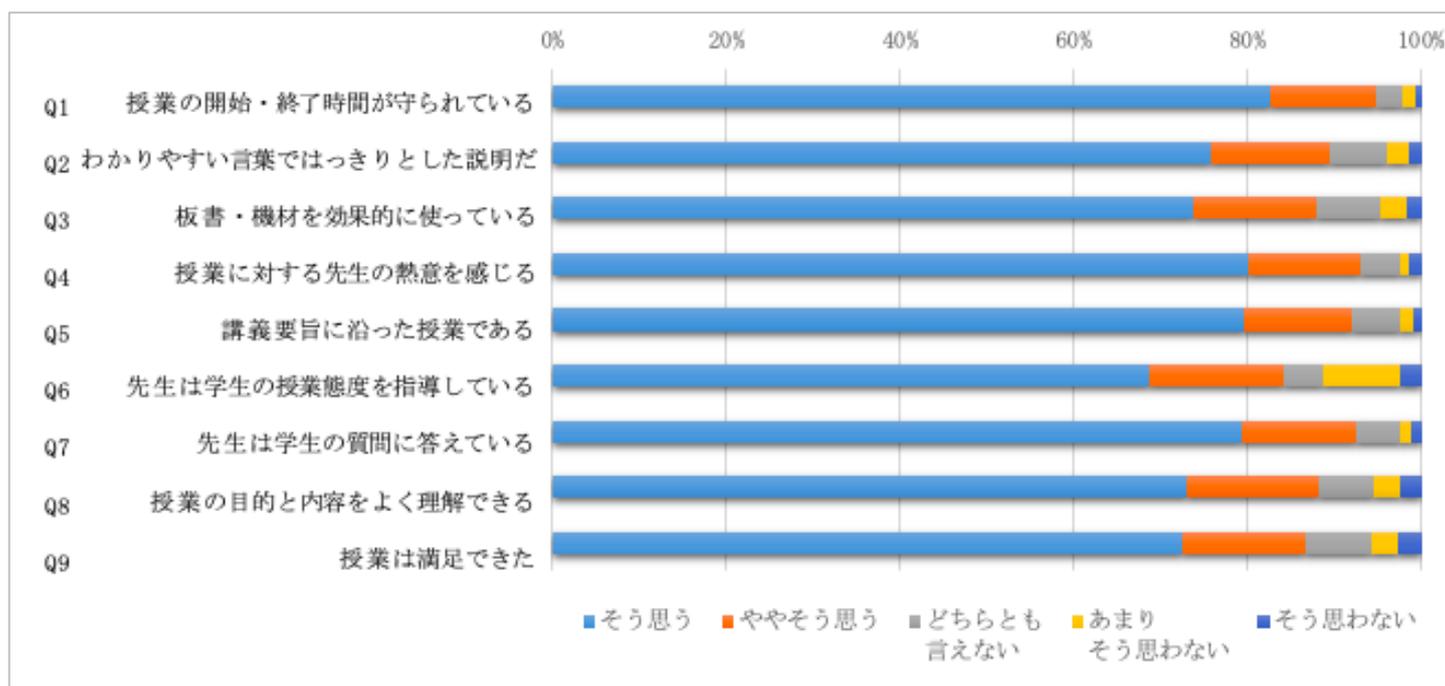
回収率が芳しくない。特に、実技におけるそれが低調である。一定の回収率がないと、授業改善計画が求められる授業科目（担当教員）の抽出に偏りが出かねない。
 学年別回答数を見ると、1 年次生が高く、3 年次生及び 4 年次生は極めて低い。ただ、このことは、3 年次生及び 4 年次生の履修科目数が他学年よりも少ない点を考慮すべきであろう。

8. おわりに

本学では、講義・実技に対する教員・学生の相互理解により、一層充実した内容の授業を提供していきたいと考えている。

令和 2 年 12 月 25 日 FD 委員会

講義



実技

